



園長だより

(70号)

園長 大串 すみゑ

【 まほうの電波の発信を！ 】

ま 待ちます。
 ほ 褒めます。
 う 受け止めます。

栗島幼稚園には、322名の園児が、毎日元気に通園しています。322通りの個性があり、先生の話半分聞くや否や、身体が先に動いてしまう子、じっくり最後まで話を聞いて行動する子、話を聞いても心の中でしっかり納得しないと行動に移せない子と、様々な個性を持っています。また、お絵描きが大好きな子、歌が大好きな子、ボール運動が大好きな子、走るのが大好きな子、等々一人一人がとても個性豊かです。

また、お絵描きが大好きな子、歌が大好きな子、ボール運動が大好きな子、走るのが大好きな子、等々一人一人がとても個性豊かです。

集団で生活をするには、お互いその個性を認め、相手を理解し尊重しながら視野を広げて欲しいと願っています。ご家庭でつい「ほら急いで早く〜!」「何やってるの〜!」など、大人の都合でお子さんをせかせてはいませんか？

この「まほうの電波」は、ある会合で、人生経験豊富な方が生き方について話していた言葉ですが、私たちも、一呼吸して子どもの気持ちに寄り添ってみましょう。大人に信頼して貰えた子ども達は、健やかな成長をする事でしょう。この夏、まほうの電波を沢山発信して下さい。

これから長い夏休みに入りますが、お子さんにあった色々な経験をさせて下さい。二学期に遅しなくなった姿で、会えることを楽しみにしています。

【先生の報告書より】(年少組)

- ・今日は、食育の話をみんなに伝えるために、「ボビー君」が体育館にやって来ました。大きなバナナの着ぐるみのボビー君に子ども達は大喜びで、楽しそうに、栄養の話を聞いていました。給食では、いつもより頑張って食べていました。
- ・今日はバナナのボビー君による食育の話がありました。分かりやすい振り付けや合い言葉があった為、子ども達も真剣に話を聞き、部屋に戻ってからも、子ども達から「楽しかったね」と言う声も聞こえ、子ども達の印象にとっても良く残った様子でした。
- ・今日は、朝から「大きなじゃがいもを掘るぞ〜」ととても楽しみにしていました。出発する前に、じゃがいもの赤ちゃんの話をしたので、じゃがいもの赤ちゃん探しを頑張っている子もいました。また、園に帰ってから、農業体験の絵を描きました。子ども達は、じゃがいもを良く観察し「じゃがいもって丸くないね。」など様々な感想があり子ども達にとって貴重な体験になったと思えました。



食育講座「ボビーくんがやってきた」

